



容易に想像できるワンマン化での事故

金儲け経営体質を改めさせる！

JTSU議員懇談会会員
国土交通委員長
参議院議員 青木 愛氏

皆さんこんにちは、参議院議員の青木愛です。いつもお世話になっておりまして、誠にありがとうございます。
全国比例区から上げていただきまし

た。この間、時々、JTSUの皆さんには事務所にもお見えくださいまして、様々なご指導をいただいております。この間のみなさんの働きによりまして、今日も国土交通省がJR東日本へ立ち入り検査等々、様々動かざるを得ない状況をつくっていただいていると感じております。
中野電車区の原因不明の事象についても報告をいただき、国交省にも直接訴えていただいたところですが、その後、国交省がその原因究明に向けて動き、そしてまた東京新聞にも取り上げていただいたという報告を先だつていただき、良かったと思っております。
みなさんの本当に、利用者のための献身的な働きが国交省を動かす、そしてまた社会を動かしているということに、心からの敬意と感謝を申し上げます。

今日は、ワンマン運転を考える集会ですが、千葉でも車掌さんがいない列車で重大事故が起きました。扉の開閉時間が短いために、杖をついている高齢の方が転倒し、かなりの重傷を負ったというニュースがあり、事故から半年も経ってから新聞報道がされ、私も知ったという状況がありました。これも事態も問題ですし、まだまだ表には出ていないこうした事故・事象がいろいろと水面下にあるのではないかと拝察するところです。
先ほど首都圏でワンマン運転になったらどうなるのか、ホームドアの隙間からお子さまが顔を覗かせるなどの話もありました。いろいろな問題が出てくることは想像に難しくないところで、それが1つの感想であります。
また、千葉県においては、ダイヤ改正がこの間の問題になり、JR東日本による一方的なダイヤ改正というのは、法律の改正で対処できるのではないかと考えております。また、今日出席されている先生方にも相談させていただければと思いましたが、西日本の方では、自治体が株の買い取りを進めているところも出てきていると伺っています。今のJR東日本は地域と共に生きるのではなく、金儲けに走っている体質を何としても改めていく必要があります。

いろいろな形で、議員の先生方と力を合わせて、皆さんと力を合わせて議論を立ち上げるなど、地域の皆さんの声を集め、大きな声に高めていきます。引き続きのご指導をお願いいたします。本日はお招きいただきまして、ありがとうございます。



鉄路は人員輸送だけでなく、食糧の安全保障にもつながるからこそ

安心して利用できる鉄道を守る！

JTSU議員懇談会会員
行政監視委員長/環境委員
参議院議員 川田 龍平氏

皆さんこんにちは。参議院議員の川田龍平です。
これまでも皆さんからのお話を聞かせていただきました。現場の話し、特に健康の話なども伺いましたけれど、先日ILO東京事務所と連絡を取り、労働者の人たちが安心して働き、そして利用する人たちが安心して安全に鉄道を利用できるよう、全力で皆さんと一緒に国会で頑張っていきます。
今日は「何かおかしくないですか」という違和感、おかしいと思う・感じるものが実は正しいというところがあります。私はずっと取り組んでいるワクチンの問題を紹介します。国会でコロナワクチンのことを取り組んでいます。これはレプリコワクチンという新しいワクチンで、鉄道のことと関係してくる安全の問題です。10月1日から65歳以上の基礎疾患のある人を対象に定期接種化されますが、このワクチンはアメリカで開発され、ベトナムで治験をしているのですが、世界中で日本だけが承認しています。この新しいワクチンが健康に影響が出ないのか違和感を覚えます。私は被害の被害者として「打つてはいけな

いではないか」と声を上げてきました。
過去40何年間でワクチンの副作用や亡くなる人の数をコロナワクチン1種類と風疹や麻疹(はしか)などに比べて歴史的に使われてきたMRワクチンと比べると、コロナワクチン1種類だけで大幅に増加していることが分かっています。そのため、コロナワクチンの安全性をもう一度、検証する必要があると考えています。国は、安全性の情報をなかなか出さず、自治体も情報を出さないように通知してしましました。しかし最近、愛知県や静岡県などで亡くなった人がロッドによって連うということが情報公開請求によって判明しています。このように調べると明らかに安全の情報やマスクは知らされず、このようなことが今の日本で起きていることだと思います。
私もJR東日本の話しを皆さんから伺っています。本当に鉄道会社は無くなっていると感じます。テナント業や不動産業の方が主流になってきており、そちらの需要の方が大きくなっているのかなと錯覚を覚えます。福島先生のお話しにもあったように、JRが金融業になっていくと本当に私たちの鉄道は守れるのかなと感じています。そして、このワンマン化や将来的な自動運転化を考えると本当に怖いことだと考えられています。一昨年、北海道からの貨物が寸断されたということがあり、鉄道輸送がなければ私たちの生活そのものがまともになくなってしまう。鉄路は人員の輸送だけではなく、食料の安全保障にもつながりますし、私たちの生活そのものに直結するものです。だからこそ、これから安心して私たちが利用できる鉄道をどうやって維持していくのかを考え、私たちはもともと鉄道事業について、しっかりと関りを深めていきます。

ありがとうございます。



新たなジョブローテーションが元凶！

みんなで作る公共交通政策で人の移動の権利を守り抜く！

JTSU議員懇談会会員
元衆議院議員/立憲民主党 東京第29区総支部長
木村 剛司氏

皆さんこんにちは、ご紹介いただきました立憲民主党政東京29区の木村たけつと申します。わたくしから挨拶をさせていただきます機会をお与えいただきまして大変感謝しております。
日頃から皆さま方の活動に心から敬意を表します。JTSUの皆さんには本心に心温まるご支援を賜りまして、心から感謝を申し上げます。だいたいどの団体もおつしやるのは「自分たちの資金アップのために」ということですが、JTSUの皆さんからは一言もそのようなお話を聞いたことがありません。皆さんは公共交通政策としてJR東日本がいかにあるべきか、このことを絶えずおつしやっています。私は、ちょうど就職氷河期で、平成に駆け抜けていく段階でしたが、あのとき最も就職をしたかった会社のナンバー1がJR東日本だったと記憶しています。その誇り高きJR東日本が、こんな内情であつたのかということを知り、私も驚いております。東京都区内の23区内のみどりの窓口も廃止になりつつありますし、またみどりの窓口で対応をお願いしても、なかなかその奥にはいつしやるのでしようけど、一向に出でこない。このような冷たい会社であると思えますし、その元凶が新たなジョブローテーションであり、熟練した皆さんの知見と経験が削がれています。すべては人の命と安全よりも会社の経営の効率、そして利益を求めるといことがすべての根幹だと思っております。

私の足立区、荒川区でもそうですが、地域のコミュニティバスが経営上の問題から赤字によって廃車又は減便ということになり、住民運動が起きております。また、JR東日本もまったく同様ですが、人の移動の権利が担保されるのが公共交通政策の在り方だと思いますので、どうか皆さま方と、福島先生と青木先生と一緒に頑張りたいと思います。どうかよろしくお願いたします。ありがとうございます。

ありがとうございます。

Table with 2 columns: Name and Role. Includes staff members like 山田 愛, 松田 亨子, 天皇 大輔, etc.